

回覧

宮崎大学発 都農町かわら版

令和8年10月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実に資することを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

予告

9/19PBLどんげね子どもカフェ参加

2年生3名が夏休み中に、みなと児童館での企画打合せ
を兼ねて子どもカフェに参加しました。昨年までのカフェ
でのPBL活動では、世代を越えた交流ができていなかったと
の学生の課題感がありました。そこで、
11月の子どもカフェにて、世代間交流を
目的とした子どもたちと大人、高齢者の方々
と一緒にゲームや手作りケーキのデコ
レーションなどを楽しむ企画を計画しました。
子どもカフェでの美味しい食事の後のひと
時を楽しみに、皆さまぜひお越しください。



11/14(土) 12時～みなと児童館 予約不要

☆☆都農に来る宮大のひとインタビュー☆☆

医学部 医学科社会医学講座
横山 彰三 教授

出身：宮崎県（小学生時代は美々津に在住）

専門：言語学（ペルシア語、医療人文学、
コミュニケーション論）

都農町に行くとき美々津にいた頃を懐かしく思い出します。
子どもたちとの対話を楽しみにしています！

今年度の都農町チャレンジ企画に応募、採択されました！

都農町の小中学生を対象に、非暴力コミュニケーション（NVC）を取り入
れた対話型ワークショップを実施します。今年度は東小学校で10～11月に
6回開催します。私たちは、人との関わりの中で、意見がぶつかったり、気持ち
がすれ違ったりすることがあります。本企画では、そんなときに「今、どんな気
持ち？」「本当は何を大切にしたいのか？」「相手は何を願っているのだろうか？」
と問いかけながら、自分と相手の気持ちや、その奥にある大切な願いに目を向け
ます。身近な出来事を題材にしたワークやロールプレイを通して、子どもたちは
自分の思いを言葉にすること、相手の話に耳を傾けることを体験的に学びます。
目指すのは、単に「優しくする」「我慢する」ことではありません。「自分も大
切にする。相手も大切にする。」そんな対話の力を育み、互いの違いを尊重しながら、地域で支え合う未来につなげていきます。

10/17地域資源創成学部10周年記念式典

今年度創設10周年を迎えた地域資源創成学部の記念式典で
は、寄附講座を通じて学生の教育、地域研究に多大な貢献を
いただいた都農町へ感謝状授与があり、坂田町長が受領され
ました。パネルディスカッションでは、中西教育長ほか5名が
登壇され、地域学部の地域での教育への貢献、こどもたちの
将来のロールモデルとしての期待、18歳人口が30%減となる2040年を視野に大学
の役割などが話されました。引き続き、
都農町での教育活動、地域との連携を通
じた人材育成、子どもたちへの学びの機
会提供などを行ってまいります。

地域資源創成学部創設10周年記念



10/21 都農東小での第一回ワークショップの様子

10/6 LIC実習報告会を開催しました

今年度のLIC実習生2名による報告会を役場新館会議室で開催し、町長はじめ関係課の課長、町議の皆様にご出席をいただきました。

眞城さんは、実習での学びをBPSモデル（健康や病気の動きを生物学的（Bios）心理的（Psycho）社会的（Social）な3要素の相互作用として総合的に捉える）に当てはめて説明しました。終末期の患者さんの在宅医療への移行にまつわる多職種連携の実践のお話もあり、病院内だけでなく地域との関わりを学ぶことができたと言っていました。

荒武さんは、実習初期の戸惑いから3か月間での自身の心理的・技術的成長について、また訪問診療での患者さんとの将棋を通じた触れあいについて、痛みや苦しみを取るのには薬だけではないことを実感したと報告していました。実習生ならではの時間をかけた患者さんへの向き合い方で、講座の桐ヶ谷教授からも貴重な時間だったとコメントがありました。

都農町での地域医療の現場での学びを胸に、これから医師国家試験、そして卒業後は医師として研修を重ねて専攻を決めていくことになります。都農町の美味しい食の思い出も写真と共に披露してくれた二人、今後も仕事やプライベートで都農町に繋がりを持ってもらえたらと思います。



☆10月に着任しました！☆ 都農町国保病院 総合診療科医師



よしだ ともふみ
吉田 朋史 先生

出身：宮崎市 頑張りたいこと：ランニング
趣味：音楽やラジオを聞くこと、
美味しいカフェ・居酒屋探し

ひと言：10月からお世話になっております。町民の方々の優しさと都農の美味しいご飯に日々元気をいただいております。
まだまだ勉強中ですが、どうぞお気軽にお声がけください。

コラム

つのまるケア講座日常の一幕 by 坂口先生

先日、医学科6年生の臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）の試験監督をしてきました。都農町国保病院で実習した学生もあり、成長した姿に胸が熱くなりました。実際の診療能力をみる試験では、それまでの臨床経験が如実に表れると言われています。各病院での実習を通じて素晴らしい経験をしていたようで、受験学生は総じて非常に高いレベルだったと感じました。

都農町では皆様のご協力で多くの実習生がやってきます。徐々に「学生の時に実習をして、初期研修医でも都農を希望して研修に来ました」という人も出てきており、嬉しい限りです。学生や研修医に都農町の良さを感じてもらい、将来一緒に地域医療を支える仲間を増やせるように引き続き院内外の皆様との良い関係を築いていきたいと思ひます。

♡今月のけんこう講話inあさひ団地♡

10/19あさひ団地でのけんこう講話は、初の開催でした。テーマは「人生会議」。病気や事故など、いざという時のために自分がどうしたいか考えておくことも大事ですね。

今が健康だから考えたことが無かった、自分のこともしっかり考えたいという感想もいただきました。10月下旬としては汗ばむ気温の中、集まっていた皆様、ありがとうございました。



予告

11/14, 15 みやだいWakuwaku体験デー＆清花祭

年に一度の大学祭と各学部の工夫を凝らした体験ができる企画が盛りだくさんの体験デーです。小中学生、高校生～大人まで、大学の中で様々な展示や体験を通して楽しみ、学生と触れ合える2日間です。ご家族そろってお出かけしてみたいはいかがでしょうか。木花、清武キャンパスともに学生サークル・部による出店、ステージでの抽選大会、ゲームなど一日遊ぶことができます。要事前予約のものも有り。詳しくは「みやだいわくわく」で検索、またはこちら→



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2026年10月26日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）